



カーボンニュートラルへの各国政府の取り組み

主要国におけるカーボンニュートラルに向けた各国政府の取り組みをまとめました

	カーボンニュートラル 目標	グリーン×成長戦略 の記載ぶり
日本	2050年 カーボンニュートラル 〈総理所信演説（2020年10月）〉	成長戦略の柱に 経済と環境の好循環 を掲げ、 グリーン社会の実現 に最大限注力（中略）もはや、温暖化への対応は経済成長の制約ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、 産業構造や経済社会の変革 をもたらし、 大きな成長につながる という発想の転換が必要です。 〈第203回総理所信演説（2020年10月）〉
アメリカ	2050年 カーボンニュートラル 〈2020年7月バイデン氏の公約〉	高収入の雇用と公平なクリーンエネルギーの未来を創造し、近代的で持続可能なインフラを構築し、連邦政府全体で科学的完全性と証拠に基づく政策立案を回復しながら、国内外の気候変動対策 に取り組む。気候への配慮を 外交政策と国家安全保障の不可欠な要素 に位置付け。 〈気候危機対処・雇用創出・科学的十全性の回復のための行政行動に関するファクトシート（2021年1月）〉
EU	2050年 カーボンニュートラル 〈長期戦略提出（2020年3月）〉	欧州グリーンディール は、公正で繁栄した社会に変えることを目的とした新たな 成長戦略 であり、2050年に温室効果ガスのネット排出がなく、 経済成長が資源の使用から切り離された、近代的で資源効率の高い競争力のある経済 。 〈The European Green Deal（2019年12月）〉
英国	2050年 カーボンニュートラル 〈長期戦略提出（2020年12月）〉	2世紀前、英国は世界初の産業革命を主導した。（中略）英国は、クリーンテクノロジー（風力、炭素回収、水素など）に投資することで世界を新しい グリーン産業革命 に導く。 〈The Ten Point Plan for a Green Industrial Revolution（2020年12月）〉
中国	2060年 カーボンニュートラル 〈国連総会一般討論（2020年9月）〉	エネルギー革命 を推進しデジタル化の発展を加速。経済社会全体の全面的 グリーンモデルチェンジ 、 グリーン低炭素の発展 の推進を加速。 〈第14次五か年計画 原案（2020年11月）〉
韓国	2050年 カーボンニュートラル 〈長期戦略提出（2020年12月）〉	カーボンニュートラル戦略を 将来の成長の推進力 として利用 将来世代の生存と持続可能な未来のために、GHG排出量を削減するという課題は守らなければならない国際的な課題であり、この課題は 将来の成長の機会 と見なされるべき。 〈韓国の長期低排出発展戦略（2020年12月）〉

出所：資源エネルギー庁